

# 輸出事業計画

様式 2

申請者名：日本ホホワイトファーム(株)札幌コンソーシアム  
品 目：鶏肉

## 1. 輸出における現状と課題

### ①現状

- ・令和4年度は鳥インフルエンザの発生により、実出船できた月は7月から9月迄のみであった。  
更に日本ホホワイトファーム(株)札幌事業所でも鳥インフルエンザが発生し工場稼働が止まった事が大きく影響した。
- ・コンソーシアム事業にて「北海道産 桜姫」拡販用サンプルとしてムネ、モモ、ササミを26トン輸出。  
また香港に送付した桜姫の販促物、拡販用サンプルは効果的に使用され高評価であった。
- ・現在、香港への鶏肉輸出は各産地が行っているが日本ホホワイトファーム(株)札幌コンソーシアムとして昨年度「北海道産」として取り組んだ弊社銘柄鶏の「桜姫」は香港現地での「北海道」の認知が高い事でイメージが良く高評価であったと現地から報告有。

### ②課題

- ・「北海道産 桜姫」サンプル品は完売したが今後、安定した正規価格で販売していく為には付加価値をつけた上で適正価格を現地で探る必要がある。
- ・「北海道産」「桜姫のキャラクター桜姫ちゃん」及び「桜姫」のネーミングが現地で好意的に受け入れられている事からさらに「桜色の鶏肉」「ビタミンがブロイラーと比べて3倍」を押し出し現地と協業して香港市場で知名度を上げていく必要がある。

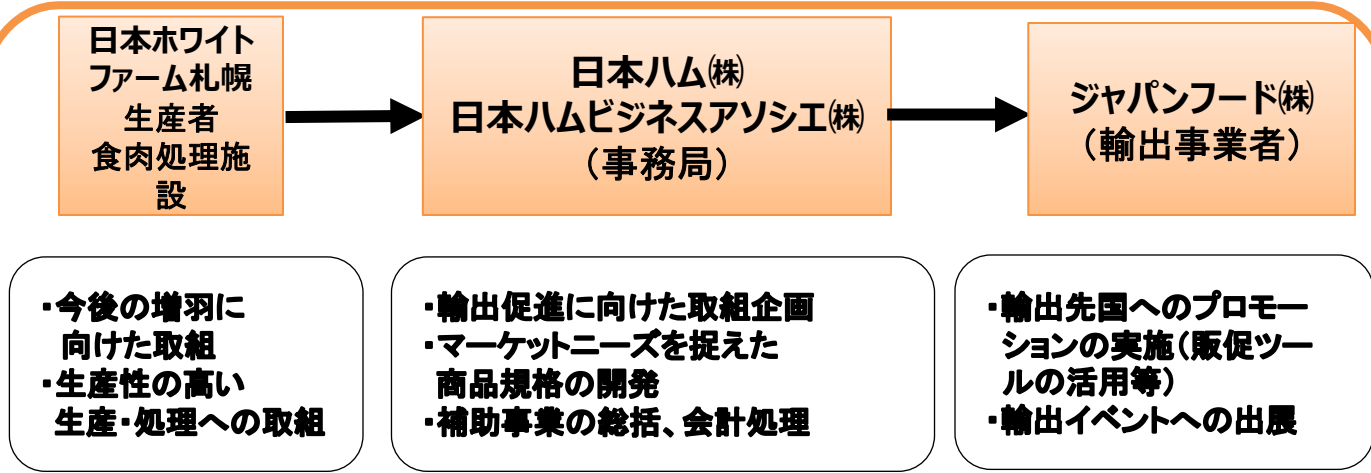
## 2. 輸出事業計画の取組内容

令和5年度は定番化に向けて当コンソーシアムメンバーによるマーケットリサーチを現地で実施して香港市場のニーズ・ウォンツを汲み取る。

香港において安定販売が可能となる適正価格や香港市民のニーズを探る為に令和3年から香港で当社と協業頂いている現地協力企業と他産地の販売事例の調査を行い「北海道産 桜姫」の販売を促進するための活動の検討を行う。

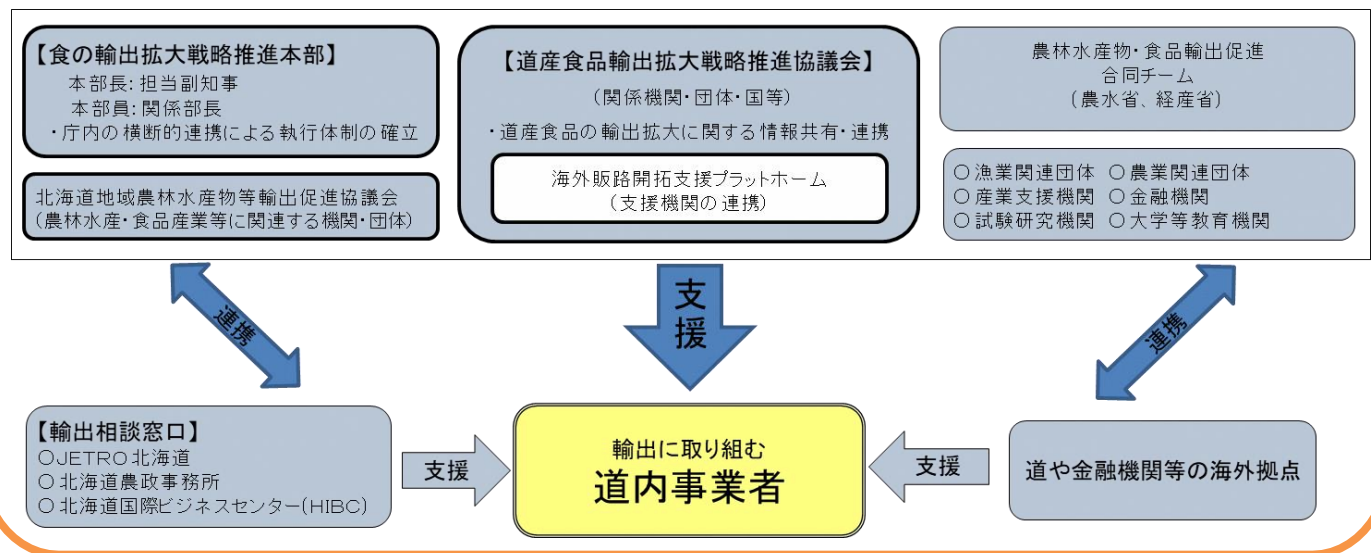
現地協力企業が令和4年度にアプローチ、納品した企業に対して私共が直接情報交換提案を行うことで香港現地の取引先を作る事で販売拡大を行う。

### 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



この他、北海道では関係機関と連携し、オール北海道としての輸出の取組を推進しており、本コンソーシアムに対しても必要に応じた支援が得られる体制。

#### 【オール北海道としての輸出体制】



### 4. 輸出目標額

|          | 現状<br>(令和4年度) | 目標年<br>(令和6年度) |
|----------|---------------|----------------|
| 輸出額 (千円) | 8,255         | 38,000         |
| 輸出量 (kg) | 26,520        | 250,000        |
| 輸出先国     | 香港            | 香港             |